

特定非営利活動法人 ウェル・クラフト 2022年度 通常総会議事録

1. 日 時：2022年6月18日（土） 14：00～16：50
2. 場 所：オンライン会議システムによる開催
3. 出 席：正会員総数：17名
出席者数：11名
(うち、オンライン参加者：6名、書面表決者：3名、表決委任者：2名)
賛助会員出席者数：0名
4. 審議事項：第1号議案 事業報告
第2号議案 決算報告
第3号議案 事業計画
第4号議案 予算計画
第5号議案 借入金
第6号議案 定款の変更
第7号議案 役員の選任

5. 議長及び議事録署名人の選出

理事長は、開会宣言、あいさつを行い、本日の総会が正会員総数の3分の1以上の出席で有効に成立していることを報告した。

議事に先立ち、議長の選任について諮ったところ、満場一致をもって河前雄也氏を議長に選任した。また、本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人2名を選任することを諮り、平野功氏、中村里美氏、を選任することについて全員異議なく承認し、総会の議事に入った。

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

第1号議案 事業報告を提案・審議したところ全員異議なく承認した。

製造・販売実績

レインコート	15,000円	2021.05.05
レインコート	15,000円	2021.05.05
レインコート	15,000円	2021.05.05
レインコート	16,300円	2021.06.11
レインコート	17,800円	2021.06.16
車いす用懐中電灯	811円	2021.05.12

車いす用買い物かごステイ	7,512円	2021.08.24
玄関踏み台の製作	5,002円	2021.09.26
ストロー用穴あけ加工	600円	2021.10.06
携帯用手動運転装置	37,289円	2021.12.15
看板の製作	20,000円	2021.12.17
駐車許可証入れ	14,300円	2022.02.24
合計金額	164,614円	

コロナの感染拡大のため、宣伝はほとんどできなかったが、販売実績は前年よりも上がった。

岡:依頼を待つのではなくこちらからビジネス的に売っていくための戦略が必要。のつつができたこともあり宣伝していくことも必要だと思う。

就労継続支援B型事業所の開設

就労継続支援B型事業所の開設について検討を進め、すでに活動しているNPO法人麗山の就労継続支援B型事業所風音を引き継ぐ形で、ウェル・クラフトとして事業所を開設する準備を進めた。

しかし、風音の建物が耐震性を満たしていなかったため新しい物件を探したが、短期間で適当な物件を見つけることはできなかった。そこで、適当な物件が見つかるまではNPO法人なごみから借りている工房等をNPO法人ウェル・クラフトと就労継続支援B型事業所のつつの事業所として正式に賃貸し、風音の場所は麗山の太秦作業所としてもらい、そこへのつつから施設外就労で通うこととなった。

中村:先週から竹田にも行っている。分散して落ち着いた感じもあった。引率を負担に感じる職員もいる。利用者の予期せぬ行動もあったりして対応が大変なときもある。

岡:職員が対応できるよう支援もいる。利用者の意思を尊重する視点もいる。

中村:引率にあたっての考えに違いもあった。

岡:新しいことをする場合は十分相談する必要はあるが、チャレンジは大切。

平野:取り組む中で改善できるのではないかな。引率者が安心できる方法が一番。

中村:自分が車を運転して体力のない利用者連れて行く方法もある。そもそも移動支援の経験のない職員が多い。

岡:公共交通機関を利用した移動の経験が少ないと、予定を変更したときの対応を思い描きにくいかもしれない。

中村:非常勤2人が常勤1人になる方が責任を持った対応になると思う。

竹下:帰ってから対応について話し合う場はあったのか。

中村:当日いた職員では、障害の度合いを考慮したり、確認をしっかりとするなど話し合った。ただ、全職員ではない。

竹下：駅での転落事故や踏切での事故があるので、移動を伴うことについてはどうなのか。

中村：杖を使っている人もいるので、事前に順路についてアドバイスはもらっていた。

河前：自分は太秦から竹田まで何度も行っていてノウハウが溜まっているのだと思う。引率者、利用者の組み合わせもいろいろ試したらどうか。慣れることも必要。

岡：引率も経験者と未経験者を組み合わせるなどリスクマネジメントを考える必要がある。利用者にとって移動なども社会参加にもつながる。竹田の実績にもなる。職員のスキルも上げていく。

情報提供事業の実施

新しくインスタグラムのアカウントを作ったが、あまり活用はできなかった。

河前：のっつのホームページを作成中。

2人乗り電動車いすの認可に向けた特区提案の取り組み、

フットペダルタイプでも JIS にのっとった性能・安全性が確保できる設定ができるようになった。ただ、開発にあまり時間をかけることができず、進展は少なかった。

岡：グリップで操作するタイプはバイクに乗ってない人には難しかった。

平野：開発中の製品にいろいろな人が乗ってもらうことで改善点が見つかったりして良かった。

確定申告

NPO法人でも製造業、販売業等の収益事業を行う場合は課税されることが分かり、過去の分を含め確定申告を行った。その結果、どの年度も収益より経費が多く、税金を納める必要はなかった。

しかし、それとは別に市民税・府民税として収益事業を行っているだけで市民税は5万円、府民税は2万円を納めなければならないことが分かった。

交流会・イベント参加活動

新型コロナの感染拡大で交流会は実施できず、イベントもほとんど中止になり参加する機会がなかった。

資金調達

福祉車両や電動化ユニットで助成金の申請をしたが通らなかった。

残念ながら、クラウドファンディングに取り組むことはできなかった。

岡：助成金が出なくても事業をするぐらいの計画で申請しなければ、通らない感じがした。

第2号議案 決算報告を提案・審議したところ全員異議なく承認した。

岡：昨年度実施した借入金は今後必要なのか。

平野：事業所を開設しておらず毎年繰越金がほとんどない状態で、年度当初にお金が必要なため実施したが、今後は事業所があり年度当初にもお金があるため返済しても大丈夫であろう。返済方法など税理士に確認する。

竹下：監査報告。

第3号議案 事業計画を提案・審議したところ過半数の賛成で承認した。

製造・販売事業

依頼を待つだけでなく、カタログ等で宣伝を強める。イベント等にも積極的に参加していく。

情報提供事業の充実

ホームページ・フェイスブック・インスタグラムをより充実させていく。

河前：現在作成中ののっつのホームページを紹介したい。今後、写真を追加していく。地図を大きくする。

平野：ウェル・クラフトのホームページにのっつへのリンク、のっつ開所の記事、
処遇改善加算の取得について掲載する。

就労継続支援B型事業所

当面は竹田と太秦の2箇所事業を進めながら、利用者の募集に努める。そのための宣伝に活用できる資料を充実させる。

施設外就労を解消するため、新たな物件探しを進める。適当な賃貸物件は少なく、物件の購入も検討する。その場合、数千万円の新たな借入金を実施することとなる。

2人乗り電動車いすの認可に向けた特区提案の取り組み、

製作した電動化ユニットを今仙技術研究所に持参し、紹介や試験を行いたい。必要に応じて試験機関も利用する。

できるだけイベント等に参加してアピールしていく。

京都市への再提案を行い、京都市と連携して国への申請を実現する。

交流会・イベント参加活動

新型コロナの感染拡大の状況を見ながら、可能であれば交流会の実施やイベントへの参加活動を進める。

特例認定NPO法人としての活動

寄附の呼びかけを進め、必要な寄附金を集める。

クラウドファンディングを利用する。

資金調達

補助金、助成金の申請をすすめ、クラウドファンディングの実施を検討する。

岡：車の助成金を申請し続けているが、こちらの負担が必要な助成もあつたりして、位置付けや活用方法をもっと明確にして欲しい。通らない場合自費のみでも購入するのか、とか。申請時の事業計画が書きにくい。

平野：太秦、竹田の移動に使うとか。

岡：その場合運転手をどうするのか。また、多機能にするとしたらいつ頃にするのか。具体的に考える必要がある。

中村：送迎、納品には車が必要。

岡：当たらなくてもやるぐらいの覚悟が必要。実施報告も求められる。

中村：送迎の有無の問い合わせはある。

岡：伏見は事業所も多く送迎の有無は選択の基準にもなる。通勤も練習と捉えれば、敢えて無しも考えられる。計画を明文化して欲しい。

竹下：車を持つと税金、維持費がかかってくる。

岡：負担をしてもやるのかについて明文化して欲しい。

平野：今後理事会で事業計画を作っていく。

市民税・府民税について

これまでの未納分を支払う。

今後は製造業をB型事業に含まれるものとし、収益事業の特例（法人税法施行令第5条2項）を活用して、収益事業として扱われないよう行政に働きかけていく。

上野：風音は非課税になっていた。

第4号議案 予算計画を提案・審議したところ全員異議なく承認した。

平野：事業所を開所するため、予算規模や項目がこれまでとは違っている。

岡：借入金の計上はどうなっているのか・

平野：借入金は活動予算書には利子返済分のみ計上している。財産目録や貸借対照表には負債として計上される。

第5号議案 借入金の実施を提案・審議したところ全員異議なく承認した。

新たな物件の賃貸または購入する場合は、必要な長期借入金を行う。

購入の場合は数千万円の融資が必要になる。

事業計画、収支予算書兼償還計画書、融資金額等については理事会で作成、決定を行う。

中村：なかなか良い物件が出てこない。良い物件は出てもすぐ売れていく。いくら借りれるのかが分からない。銀行に就B、多機能でそれぞれ事業計画を出さないといけない。ひとつの物件を複数の不動産屋が扱っているので、話をしている間に売れたり商談中になる。まず融資がいくら出るかはっきりさせておく。こちらの本気度を示す必要もある。手付け金を準備することも必要。

河前：NPO 法人として融資を受けたときの保証人はどうなるのか。また、20年、30年と続くときの代替わりとかはどうなるのか。

中村：保証人は私になる。代替わりまではよく分からないが、困るということであれば、私が続けても良い。

河前：この話を家族にしたときに、借金をどのくらい引き継ぐのかと聞かれた。どのような手続きがあるのか聞きたい。

中村：建物が建ち健全な経営をしていったらきちんとお金が入ってくるし、利用者も付いて来てくれると思うので、一般の企業の場合よりも確実だと思う。

河前：建物が建つまでの間はどのようにしていくのか。理事会での話が必要。

平野：金額が大きいことの不安はある。今回、事業所を運営する管理者の中村さんの本気度が関わってくるのではないかと。中村さんの覚悟があれば、法人としてGoサインを出して良いのかなと思う。

中村：この話が無しになると事業所を続けていくのはむずかしいと思う。

上野：新築の場合、建って鍵をもらってからローンが始まると思う。その時に運転資金もいると思う。それまでに手付け金もいる。

岡：この話は耐震の問題が分かったときから出ていて、この方向でやろうということだったと思う。収入が見込めるし、資産にもなる。購入の場合、他にどのような資金がいるのかを不動産屋に聞いている。収入が少ないのなら、利用者増やしていくためにどうしていくのか検討していく方がよい。

中村：利用者が1~2人増えるだけでも変わってくるので、その検討がいる。

岡：自己資金は必要になるかもしれない。

平野：償還計画では30年あれば返していけるし、資産も残る。心配なのはその間の運営を後に残った人が押しつけられないようにすること。

中村：私が保証人になって、河前さんに負担がかからないようにしたい。

岡：補助金とかも活用する。

平野：既にあれだけの利用者もいるので、新しい物件で進めればもっと可能性は広がるだろう。経営で努力していけば大丈夫だろう。

岡：SDGs や共生社会なども視野に入れる。

河前：のつつを進めていくためには新しい土地を探すしかないと思う。やりながら中村さんたちの姿から吸収していく。同じ方向を向いて。

竹下：京都市の使っていない建物等は貸してもらえないのか。

岡：事業としてちゃんとしてないとむずかしいのでは。

竹下：知人が子ども食堂を立ち上げるとき、ニーズをつかみ自治連や行政にも働きかけ協力してもらっていた。就Bでもニーズをつかんで行政に働きかけることはできないか。

岡：なかなか地域とはコラボできてないが、のつつが関わっていけるだろうか。

竹下：障害者の方で社会参加したいと思いつながら行き場所を探している人もいるのでは。

岡：意識的に目を向けないと見えにくい。ウェル・クラフトとしてやるのかというとうどうなんだろう。伏見はB型事業所は多くて飽和状態。右京はまだ少ない。生活介護的な需要もあると思う。

中村：支援学校の先生の話では放課後デイや生活介護が少ない。就Bでは難しそうな生徒が見学に来た。

岡：事件以降、色々考えている。そんなニーズに応えていくか、いろいろ展開はできる。職員を育てないといけない。多機能にすると来やすくなる。

中村：多機能で就B 15人、生活介護5人でどうか。

平野：中身は事業計画で詰めていくとして、今後物件を探し借入金を実施する方向で動いていく。

中村：別件で銀行との話の中で、レインコート製作を応援したいという話がある。

第6号議案 定款の変更について提案・審議したところ全員異議なく承認した。

理事長の人数を1人から1人～2人に変更したことにより、少ない理事の中から必ずしも副理事長を選ばなくても良いように変更する。

変更前	変更後
(種別及び定数) 第12条 この法人に次の役員を置く。 (1) 理事 3人～8人 (2) 監事 1人～2人 2 理事のうち、1人～2人を理事長、 <u>1人～2人を副理事長とする。</u>	(種別及び定数) 第12条 この法人に次の役員を置く。 (1) 理事 3人～8人 (2) 監事 1人～2人 2 理事のうち、1人～2人を理事長と <u>する。</u> <u>3 理事のうち、1人～2人の副理事長</u> <u>を置くことができる。</u>

第7号議案 役員全員2022年6月30日任期満了につき、下記の者の選任を提案・審議したところ全員異議なく承認し、被選任者は全員その就任を承諾した。

理事 岡 みどり
理事 河前 雄也
理事 中村 里美
理事 平野 功
監事 竹下 恵理子

※下線部分は提案に対する補足や意見

議長は、以上をもって総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、議長の任を解いた。

最後に理事長が総会の閉会宣言を行った。

以上、この議事録が正確であることを証します。

議長 河前雄也 (印)

議事録署名人 平野功 (印)

議事録署名人 中村里美 (印)